

東日本大震災・福島原発事故から1年・・・

# 守ろう命・くらし、STOP! 女川原発

3.11メモリアル  
宣伝・署名行動

## 生業の再建、復旧・復興の推進こそ



3・11東日本大震災、福島原発事故から1年。「東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター」は11日、犠牲者を悼んで胸に喪章(リボン)をつけて、仙台市の繁華街でメモリアル宣伝行動。「被災者・被災地が主人公の復旧・復興を」「東北電力女川原発の再稼働は許さない」と訴え、原発からの撤退を進める要請署名に取り組み、807人分を集めました。

県民センターを構成する女川原発は5系統のうち「被災者の会」や医療、福祉、労働、女性など各団体、個人が82人参加し、「ストップ女川原発」などと書いたのぼり25本を掲げ、県民センターの綱島不二雄代表世話人をはじめ、10人以上がリレートーク。くらし・生業の再建、復旧・復興の推進を訴え、「震災で

女川原発は5系統のうち4系統を失い、東電・福島第1原発事故と紙一重だった」と指摘。「子どもたちを守るため、皆さんの思いを署名に託してください」と呼びかけました。署名した通行人は、「小さい子どもがいるので、福島みたいな事故が起きないかととても心配(仙台市太白区・女性)、「危険な原発に頼らず、太陽光や風力など自然エネルギーを生かすべきだ(仙台市宮城野区・男性)」と話し、若い男女の姿も目立ちました。カラー刷りチラシは、通行人が次つぎと受け取り1800枚がなくなりました。



## 「女川原発」再稼働ゆるさない 30万筆署名達成へ

「女川原発を再稼働させず、原発からの撤退を求める要請署名」が、30万筆の達成へ向けてスタートしました。(呼びかけ団体「東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター、宮城県母親連絡会、日本科学者会」)

議、宮城県労働組合総連合、原発問題住民運動宮城県連絡センター)すでに、「目標を決め、署名用紙を回して集める」「署名の廃炉を求める会が結成される」などの活動が報告されています。

県民センターは、署名用紙を3万枚増刷して、各団体と協力しながら、運動に拍車をかけるための取り組みを強めています。また、「STOP! 女川原発3・20アクション」(裏面参照)の成功をよびかけています。

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

ニュース No.9  
2012年3月15日発行

●住所 〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目5-10 護譜代町ビル305号  
●電話 022-399-6907 Fax 399-6925 ●Email miyagi.kenmincenter@.com

# 「原発賠償みやぎ相談センター」活動開始



**現地相談会開き  
電話相談を開設**

## 原発賠償の相談機関として

東京電力福島第一原発事故の被害による賠償請求を支援するため、「東日本大震災復興・復興支援みやぎ県民センター」は2月23日、「原発賠償みやぎ相談センター」を設置しました。

県民センターの綱島不二雄代表世話人、賠償相談センター長になった菅場猛天元山形大学教授、菊地修弁護士が同日、県

## 怒りと深刻な相談が次つぎ

賠償相談センターでは、営業損害、出荷停止、風評被害、就労不能、避難費用などを相談対象に国の「中間指針」にとられない全面賠償を求めています。

電話による無料相談は、月、水、金曜日の午前10時～午後4時まで、022・3699・6907（県民センターと共用）で受け付けています。

賠償請求を担当する弁護士も結成されており、菊地団長、千葉達朗事務局長を含む11人の弁護士が構成されています。

### 「賠償相談センター」

は2月26日、角田市で被害賠償の相談会を開き、福島県境と隣接する地域の相談者が訪れました。

●蔵王町で旅館業を営む男性「旅館の客が3分の1に激減した。キノコや山菜も出せなくなり、まきもつかえなくなった。とても旅館を続けられない。」

●角田市で製造工場を経営する男性「商品の汚染で売れなくなった。被害額は1億円を超している。つくれないことが悔しい。」

●角田市の夫婦「まきボイラーの灰を測ったら



1kg当たり1万3570ベクレルあった。捨てる場所もなく子どもたちが心配です。

●丸森町の男性「インシンの放射能汚染で食べられなくなり、狩猟もできず、畑の被害が増え、深刻だ。」

— など、角田市の相談会では12件の相談がありました。また、「賠償相談センター」開設してから、電話相談は18件（15日現在）寄せられています。

綱島不二雄代表は、「引き続き現地相談会を開きたい。電話相談も大いに利用していただきたい」と語っています。

**STOP! 女川原発 3.20 アクション**

日程：3月20日（春分の日）14時集合  
場所：仙台市錦町公園

■スケジュール  
1、集合 14:00～14:40  
2、黙祷 14:46  
3、アビエイション 15:00～16:00

雨天決行！

## 健康調査は必要です

### 宮城の医師・「県民センター」が知事に要望書

核戦争を防止する宮城医師・歯科医師の会（代表・沼沢博真保険医協会副理事長、大窪豊宮城民医連会長）と東日本大震災復興旧・復興支援みやぎ県民センターは14日、「宮城県健康影響に関する有識者会議報告書」に対する意見と要望書を、村井嘉浩知事、中村功県議会議長に提出。沼沢代表と県民センターの綱島不二雄代表世話人、村口至事務局次長（医師）が文書を手渡しして説明しました。

要望書は、報告書が都合のいい資料や研究論文だけをもとに「科学的・医学的な観点からは、現状では健康への必要性はない」と結論つけていると指摘。自然放射能や医療被ばく、喫煙などによる発ガンリスクと比較しての説明は、原発事故の責任を被害の量的な問題にすりかえて矮小化するものであり、倫理的に許されないと批判しています。

そのうえで、要望書は、◎累積被ばく年間1

ミレドを超える汚染地域については、18歳以下は甲状腺超音波検査の実施や一般健診項目に白血球分類を加えるなど福島県の健康調査に準じた内容と期間にする、◎子どもを持つ親の不安にこたえるため、最寄の保健所での受診や検査を保証する、◎外部被ばくの個別評価のために子どもにガラスバッジを配布する——ことなど重点を求めています。

## STOP! 女川原発 3.20 アクション

●3月20日（春分の日）14時集合  
●仙台市錦町公園へ、みんなで行こう

お誘いあって参加し、アクションを大成功させ、女川原発ストップ、原発ゼロへ、宮城から全国に発信しましょう。

戦車が繁華街の歩道に、自衛隊員勧誘...

県民センターが3・11をリアル宣伝の最中、多賀城自衛隊が、繁華街の歩道に戦車を駐車させ、通行人を引き込むしぐさをしていました。

「若者を勧誘している」と、批判の声が。